

1980年 大会記録

国際

◇ワールドカップ=フリースタイル (3月29~30日、米国・トレド)

4位 (1勝3敗)

《個人順位》▼48kg級 石川真一 (国士舘大) = 3位、▼52kg級 菅野幸一 (国士舘大) = 4位、▼57kg級 小泉順一 (国士舘大) = 4位、▼62kg級 佐藤幸次 (拓大) = 4位、▼68kg級 山口敏博 (国士舘大) = 3位、▼74kg級 田谷久雄 (東洋大)、▼82kg級 望月弘章 (東農大)、▼90kg級 伊藤勝春 (丸藤シートパイル) = 4位、▼100kg級 大林裕明 (明大) = 5位、▼100kg以上級 松浦真一 (東農大) = 4位

◇モスクワ五輪=不参加につき、幻の代表選手 (7月21日~8月2日、ソ連・モスクワ)

《フリースタイル》▼48kg級 入江隆 (自衛隊)、▼52kg級 高田裕司 (日体大研)、▼57kg級 富山英明 (日大研)、▼62kg級 多賀恒雄 (国士大助)、▼68kg級 宮原章 (松永製あん)、▼74kg級 伊達治一郎 (国士大教)、▼82kg級 太田章 (早大)、▼90kg級 清水一夫 (岡山日大高教)、▼100kg級 谷津嘉章 (足利工大研)、▼100kg以上級 森康哲 (自衛隊)

《グレコローマン》▼48kg級 佐々木文和 (日体大)、▼52kg級 朝倉利夫 (国士大助)、▼57kg級 柏木究 (国士大助)、▼62kg級 長内清一 (三八教育事務所)、▼68kg級 南敏文 (滋賀県体教)、▼74kg級 野口次男 (自衛隊)、▼82kg級 高西一宏 (徳島・徳島中央高教)、▼90kg級 今村民夫 (自衛隊)、▼100kg級 藤森安一 (警視庁)、▼100kg以上級 宮内輝和 (日大)

◇カナダカップ=フリースタイル (11月14~15日、カナダ・サンダーベイ)

▼48kg級 入江隆 (自衛隊) = 優勝、▼52kg級 元沢正樹 (自衛隊) = 優勝、▼57kg級 富山英明 (日大研) = 優勝、▼64kg級 多賀恒雄 (国士舘大助) = 2位、▼70kg級 宮原章 (松永製あん) = 優勝、▼76kg級 海沼邦彦 (ユナイテッド・スティー爾) = 3位、▼84kg級 太田章 (早大) = 2位、▼90kg級 鈴木光 (ユナイテッド・スティー爾) = 二失、▼100kg級 安藤正哉 (日体大) = 3位、▼100kg以上級 森康哲 (自衛隊) = 4位

◇カルガリー・トーナメント=フリースタイル(11月22日、カナダ・カルガリー)

▼52kg級 元沢正樹(自衛隊)=優勝、▼57kg級 富山英明(日大研)=優勝、▼65kg級 多賀恒雄(国士舘大助)=優勝、▼72kg級 宮原章(松永製あん)=優勝、▼76kg級 海沼邦彦(ユナイテッド・スティー爾)=優勝、▼100kg級 鈴木光(ユナイテッド・スティー爾)=優勝、安藤正哉(日体大)=2位、▼100kg以上級 森康哲(自衛隊)=2位

◇ワールドカップ=グレコローマン(12月1~2日、スウェーデン・トレレボリ)

4位(3敗)

1回戦 日本●[3-7] ○スウェーデン

2回戦 日本●[3-7] ○米国

3回戦 日本●[1-9] ○ソ連

《個人順位》▼48kg級 佐々木文和(日体大)=4位、▼52kg級 中村文二(和歌山・和歌山東高教)=2位、▼57kg級 大野義弘(山口・上関中教)=3位、▼62kg級 長内清一(青森・三八教育事務所)=2位、▼68kg級 南敏文(滋賀県立体育館)=2位、▼74kg級 谷一郎(日体大)=4位、▼82kg級 高西一宏(徳島・徳島中央高教)=4位、▼90kg級 今村民夫(自衛隊)=4位、▼100kg級 吉田幸雄(八戸消防署)=4位、▼100kg以上級 松永清志(和歌山県教育庁)=4位

◇スーパーチャンピオンカップ=フリースタイル(12月13~14日、名古屋市・名商大)

▼48kg級 石川真一(国士舘大)=2位、菊田順宏(自衛隊)=3位、▼52kg級 朝倉利夫(国士舘大助)=2位、元沢正樹(自衛隊)=4位、▼57kg級 富山英明(日大研)=優勝、▼62kg級 、▼68kg級 、▼74kg級 海沼邦彦(ユナイテッド・スティー爾)=3位

国内

◇モスクワ五輪第4次選考会(3月17~18日、東京・青少年総合センター)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 清水清人(宮崎・日南工高教)、▼52kg級 高田裕司(日体大研)、▼57kg級 富山英明(日大)、▼62kg級 多賀恒雄(国士舘大助)、▼68kg級 南正昭(宮崎県教委)、▼74kg級 川田勝也(ユナイテッド・スティー爾)、▼82kg級 太田章(早大)、▼90kg級 鈴木光(ユナイテッド・スティー爾)、▼100kg級&100kg以上級 森康哲(自衛隊)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 菊田順宏（自衛隊）、▼52kg 級 朝倉利夫（国士館大研）、▼57kg 級 柏木究（国士館大研）、▼62kg 級 長内清一（三八教育事務所）、▼68kg 級 南敏文（滋賀県教委）、▼74kg 級 野口次夫（自衛隊）、▼82kg 級 伊沢厚（警視庁）、▼90kg 級 藤田孝弘（和歌山県庁）、▼100kg 級 藤森安一（警視庁）、▼100kg 以上級 松永清志（和歌山県庁）

◇全国高校選抜大会（4月2～3日、新潟・新潟市体育館）

《学校対抗戦》[1] 韓国・全羅北道、[2] 青森・光星学院、[3] 千葉・八千代松蔭

《個人戦優勝者》▼48kg 級 小林孝至（茨城・土浦日大）、▼52kg 級 菅原弘（秋田・秋田商）、▼56kg 級 立道浩司（徳島・貞光工）、▼60kg 級 大町忠雄（宮城・仙台育英）、▼65kg 級 佐川正吉（徳島・貞光工）、▼70kg 級 尹垆在（韓国・全北体育）、▼75kg 級 谷川英樹（青森・光星学院）、▼75kg 以上級 本田多聞（茨城・土浦日大）

◇全日本選手権（4月27日、東京・東京体育館）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 入江隆（自衛隊）、▼52kg 級 高田裕司（日体大研）、▼57kg 級 富山英明（日大研）、▼62kg 級 多賀恒雄（国士大助）、▼68kg 級 宮原章（松永製あん）、▼74kg 級 伊達治一郎（国士大教）、▼82kg 級 太田章（早大）、▼90kg 級 清水一夫（岡山日大高教）、▼100kg 級 谷津嘉章（足利工大研）、▼100kg 以上級 森康哲（自衛隊）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 佐々木文和（日体大）、▼52kg 級 朝倉利夫（国士大助）、▼57kg 級 柏木究（国士大助）、▼62kg 級 長内清一（三八教育事務所）、▼68kg 級 南敏文（滋賀県体教）、▼74kg 級 野口次男（自衛隊）、▼82kg 級 高西一宏（徳島・徳島中央高教）、▼90kg 級 今村民夫（自衛隊）、▼100kg 級 藤森安一（警視庁）、▼100kg 以上級 宮内輝和（日大）

◇西日本学生春季新人戦（4月29日、大阪・桃山学院大）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 豊田育男（福岡大）、▼52kg 級 山本仁志（近大）、▼57kg 級 秋山徳久（福岡大）、▼62kg 級 志田育成（近大）、▼68kg 級 井手雅博（福岡大）、▼74kg 級 松本貴寿（福岡大）、▼82kg 級 林三千年（福岡大）、▼82kg 以上級 石森宏一（大体大）

※フリースタイルのみ

◇東日本学生リーグ戦（5月13～15・24日、東京・青少年総合センター、駒沢体育館）

《順位》[1] 日体大（2年連続4度目）、[2] 日大

(A組順位) [1] 日体大、 [2] 国士大、 [3] 明大、 [4] 東海大、 [5] 八戸工大、
[6] 東農大

(B組順位) [1] 日大、 [2] 専大、 [3] 大東大、 [4] 中大、 [5] 東洋大、 [6]
拓 大

◇西日本学生選手権 (5月23～25日、大阪・大阪府立体育会館別館)

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 田中一成 (桃山学院大)、▼52kg 級 伊藤俊信 (福岡大)、▼57kg 級 黒本忠幸 (福岡大)、▼62kg 級 守田武史 (徳山大)、▼68kg 級 中塚弘志 (徳山大)、▼74kg 級 小形一寿 (福岡大)、▼82kg 級 宮本明宏 (徳山大)、▼82kg 以上級 石森宏一 (大体大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 田中一成 (桃山学院大)、▼52kg 級 亀田雅彦 (関大)、▼57kg 級 佐野聰伸 (徳山大)、▼62kg 級 守田武史 (徳山大)、▼68kg 級 中塚弘志 (徳山大)、▼74kg 級 和泉憲明 (徳山大)、▼82kg 級 横山博行 (関大)、▼82kg 以上級 木村満彦 (同志社大)

◇東日本学生春季新人戦 (6月17～20日、東京・青少年総合センター)

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 大川秀和 (日体大)、▼52kg 級 佐藤満 (日体大)、▼57kg 級 佐藤新 (日体大)、▼62kg 級 栄和人 (日体大)、▼68kg 級 五位塚悟 (大東大)、▼74kg 級 岸本茂範 (中大)、▼82kg 級 東出徹 (日体大)、▼90kg 級 牧野満章 (国士館大)、▼90kg 級以上 渡辺明 (日体大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 大川秀和 (日体大)、▼52kg 級 三宅正徳 (日体大)、▼57kg 級 青木昭之 (日体大)、▼62kg 級 栄和人 (日体大)、▼68kg 級 五位塚悟 (大東大)、▼74kg 級 西村公夫 (専大)、▼82kg 級 東出徹 (日体大)、▼90kg 級 牧野満章 (国士館大)、▼90kg 級以上 渡辺明 (日体大)

◇西日本学生春季リーグ戦 (6月27～29日、大阪・大阪府立体育会館別館)

《順位》[1] 福岡大 (2季ぶり8度目)、 [2] 徳山大、 [3] 大体大、 [4] 近大、 [5] 同志社大、 [6] 関大、

◇全日本社会人選手権 (7月5～6日、東京・青少年スポーツセンター)

《団体戦・官公庁対抗優勝》自衛隊A、《同・実業団対抗優勝》ユニマット、《同・クラブ対抗優勝》栃の葉クラブ、《同・三部対抗優勝》自衛隊A

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 福山雄二 (自衛隊)、▼52kg 級 入江隆 (自衛

隊)、▼57kg 級 朝倉利夫(国士舘大助)、▼62kg 級 川村昌司(栃ノ葉ク)、▼68kg 級 南正昭(宮崎ク)、▼74kg 級 小柳美代志(栃ノ葉ク)、▼82kg 級 木村年貴(滋賀県体協)、▼90kg 級 伊藤勝春(丸藤シートパイル)、▼100kg 級 藤森安一(警視庁)、▼100kg 以上級 森康哲(自衛隊)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 福山雄二(自衛隊)、▼52kg 級 宮原厚次(自衛隊)、▼57kg 級 阿佐雄二(自衛隊)、▼62kg 級 藤田勅(自衛隊)、▼68kg 級 山口勝之(和歌山県教ク)、▼74kg 級 南敏文(滋賀県体協)、▼82kg 級 長島偉之(栃ノ葉ク)、▼90kg 級 伊沢厚(警視庁)、▼100kg 級 藤森安一(警視庁)、▼100kg 以上級 森康哲(自衛隊)

◇インターハイ(8月2～5日、徳島・池田高)

《学校対抗戦》[1] 茨城・土浦日大、[2]、[3]、

《個人戦優勝者》▼48kg 級 小林孝至(茨城・土浦日大)、▼52kg 級 嘉納清邦(東京・京北)、▼56kg 級 柏瀬孝夫(栃木・足利工大付)、▼60kg 級 渡部祐一(栃木・足利工大付)、▼65kg 級 佐川正吉(徳島・貞光工)、▼70kg 級 湯浅邦茂(徳島・穴吹)、▼75kg 級 谷川英樹(青森・光星学院)、▼75kg 以上級 武田高広(山形・山形商)

◇全日本学生選手権(8月28～31日、東京・駒沢体育館)

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 石川真一(国士舘大)、▼52kg 級 小林利典(大東大)、▼57kg 級 横山勝正(専大)、▼62kg 級 五位塚悟(大東大)、▼68kg 級 大家岳彦(日体大)、▼74kg 級 岸本茂範(中大)、▼82kg 級 芽原功(専大)、▼90kg 級 相沢伸彦(国士舘大)、▼90kg 級以上 山本邦寿(日体大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 佐々木文和(日体大)、▼52kg 級 菅野幸一(国士舘大)、▼57kg 級 水谷一也(日体大)、▼62kg 級 五位塚悟(大東大)、▼68kg 級 松林栄(日体大)、▼74kg 級 谷一郎(日体大)、▼82kg 級 保坂竹道(国士舘大)、▼90kg 級 西塚賢一(明大)、▼90kg 級以上 宮内輝和(日大)

◇西日本学生秋季新人戦(9月14～15日、大阪・桃山学院大)

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 筒井基文(近大)、▼52kg 級 横山久(同志社大)、▼57kg 級 西尾章彦(同志社大)、▼62kg 級 登明夫(近大)、▼68kg 級 高橋照彦(名商大)、▼74kg 級 平山悦司(大体大)、▼82kg 級 今村岳生(同志社大)、▼82kg 以上級 石森宏一(大体大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 田中一成（桃山学院大）、▼52kg 級 河原公成（近大）、▼57kg 級 古川孝司（同志社大）、▼62kg 級 諸岡渡（名商大）、▼68kg 級 井上行浩（近大）、▼74kg 級 平山悦司（大体大）、▼82kg 級 今村岳生（同志社大）、▼82kg 以上級 石森宏一（大体大）

◇全日本学生王座決定戦（10月3～4日、東京・青少年総合センター）=決勝成績

日体大○ [5-4] ●日大

※日体大は3年連続4度目

◇国体（10月13～16日、栃木・足利工大）

《成年フリースタイル優勝者》▼48kg 級 石川利明（栃木・日大）、▼52kg 級 元沢正樹（埼玉・自衛隊）、▼57kg 級 富山英明（茨城・日大研）、▼62kg 級 川村昌司（栃木・宇都宮農高教）、▼68kg 級 宮原章（秋田・松永製あん）、▼74kg 級 岸本茂範（北海道・中大）、▼82kg 級 藤田末広（茨城・自衛隊）、▼90kg 級 太田章（秋田・早大）、▼100kg 級 谷津嘉章（栃木・足利工大研）、▼100kg 以上級 松永清志（和歌山・県教育庁）

《成年グレコローマン優勝者》▼48kg 級 菊田順宏（埼玉・自衛隊）、▼52kg 級 宮原厚次（埼玉・自衛隊）、▼57kg 級 朝倉利夫（東京・国土舘大）、▼62kg 級 長内清一（青森・三八教育事務所）、▼68kg 級 南敏文（滋賀・県体育舘）、▼74kg 級 池乗貞明（新潟・国土舘大）、▼82kg 級 伊沢厚（東京・警視庁）、▼90kg 級 今村民夫（埼玉・自衛隊）、▼100kg 級 藤森安一（東京・警視庁）、▼100kg 以上級 宮内輝和（栃木・日大）

《少年フリースタイル優勝者》▼48kg 級 小林孝至（茨城・土浦日大）、▼52kg 級 森岡敬志（鹿児島・鹿児島商工）、▼56kg 級 柏瀬孝夫（栃木・足利工大付）、▼60kg 級 田村英樹（神奈川・日大藤沢）、▼65kg 級 中村勝雄（青森・光星学院）、▼70kg 級 安田紀久雄（秋田・秋田経法大付）、▼75kg 級 谷川英樹（青森・光星学院）、▼81kg 級 水橋徹（東京・京北）、▼87kg 級 三沢光晴（栃木・足利工大付）、▼87kg 以上級 本田多聞（茨城・土浦日大）

《少年グレコローマン優勝者》▼48kg 級 登坂修（富山・高岡一）、▼52kg 級 一色啓雅（三重・松阪工）、▼56kg 級 工藤健治（秋田・秋田経法大付）、▼60kg 級 立道浩司（徳島・貞光工）、▼65kg 級 森巧（徳島・貞光工）、▼70kg 級 湯浅邦茂（徳島・穴吹）、▼75kg 級 飯田克也（神奈川・日大藤沢）、▼81kg 級 鈴木博（静岡・修善寺工）、▼87kg 級 佐藤秀男（千葉・八千代松陰）、▼87kg 以上級 武田高広（山形・山

形商)

◇東日本学生グレコローマン選手権 (10月28日、東京・青少年総合センター) =決勝

成績

日体大○ [7-2] ●国士舘大

※

◇全日本大学選手権 (11月14~15日、滋賀・甲賀町民体育館)

《優勝者》 ▼48kg級 石川真一 (国士舘大)、▼52kg級 佐藤満 (日体大)、▼57kg級 田中琢優 (日大)、▼62kg級 栄和人 (日体大)、▼68kg級 上村政和 (日大)、▼74kg級 岡島克史 (日体大)、▼84kg級 保坂竹道 (国士舘大)、▼90kg級 茅原功 (専大)、▼90kg以上級 宮内輝和 (日大)

《大学対抗得点》 [1] 日体大 (4年連続5度目)、 [2] 日大、 [3] 国士舘大

◇東日本学生秋季新人戦 (11月18~21日、東京・青少年総合センター)

《フリースタイル優勝者》 ▼48kg級 文田敏郎 (日体大)、▼52kg級 井上智明 (国士舘大)、▼57kg級 滝田達也 (日大)、▼62kg級 内山正美 (日体大)、▼68kg級 栄和人 (日体大)、▼74kg級 樋口直巳 (日体大)、▼82kg級 上村政和 (日大)、▼90kg級 位寄正司 (東洋大)、▼90kg級以上 田端久和 (法大)

《グレコローマン優勝者》 ▼48kg級 文田敏郎 (日体大)、▼52kg級 井上智明 (国士舘大)、▼57kg級 成田順房 (専大)、▼62kg級 斉藤稔 (中大)、▼68kg級 中島則之 (日体大)、▼74kg級 岸本茂範 (中大)、▼82kg級 樋口直巳 (日体大)、▼90kg級 曾根哲郎 (法大)、▼90kg級以上 宮田竜治 (中大)

◇西日本学生秋季リーグ戦 (11月22~24日、大阪・大阪府立体育会館別館)

《順位》 [1] 福岡大 (2季連続9度目)、 [2] 徳山大、 [3] 近大、 [4] 同志社大、 [5] 大体大、 [6] 名古屋商大